

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.5
Q1 室内環境			0.40					2.9
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00			3.0
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 2 界壁遮音性能				3.0	0.30			
3 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.20			
4 4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20			
1.3 吸音								
2 温熱環境		1.0	0.35	3.0	1.00			2.8
2.1 室温制御		1.0	1.00	3.0	1.00			
1 1 室温								
3 3 外皮性能		1.0	1.00	3.0	1.00			
4 4 ゾーン別制御性								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境		2.7	0.25	3.2	1.00			3.1
3.1 昼光利用		3.0	0.30	2.5	0.50			
1 1 昼光率				2.0	0.50			
2 2 方位別開口				3.0	0.30			
3 3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.50			
1 1 グレア対策								
2 2 昼光制御		2.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15					
3.4 照明制御		3.0	0.25					
4 空気質環境		3.0	0.25	3.0	1.00			3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.60	3.0	0.63			
1 1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 1 換気量		3.0	1.00	3.0	0.33			
2 2 自然換気性能				3.0	0.33			
3 3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33			
4.3 運用管理								
1 1 CO ₂ の監視								
2 2 喫煙の制御								
Q2 サービス性能			0.30					2.5
1 機能性		2.5	0.40	2.0	1.00			2.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	2.0	0.60			
1 1 広さ・収納性								
2 2 高度情報通信設備対応				2.0	1.00			
3 3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40			
1 1 広さ感・景観				3.0	0.50			
2 2 リフレッシュスペース								
3 3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.5	0.30					
1 1 維持管理に配慮した設計	内装仕上げに防汚性の高い建材を使用	4.0	0.50					
2 2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31					3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48					
1 1 耐震性		3.0	0.80					
2 2 免震・制振性能								
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33					
1 1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23					
3 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09					
4 4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
5 5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15					
6 6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			3.0	0.19		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり					2.6	0.50	
1	階高のゆとり				3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.0
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40		-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20		-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		共用部に適切な照明器具の採用	3.2	0.40		-	3.2
		集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)	#VALUE!				
		集合住宅の評価	3.2				
4 効率的運用						-	-
4.1	モニタリング					-	
4.2	運用管理体制					-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.5
1 水資源保護			2.2	0.15		-	2.2
1.1	節水		1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無					-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.63		-	2.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	1.00		-	
3	冷媒		-	-		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出量を参照値の約94%に抑制	3.2	0.33		-	3.2
2 地域環境への配慮			2.8	0.33		-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制					-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	深夜の調光、滅灯、消灯を検討している	4.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	